

最近のリフロー方法の特徴とはんだ材料について

株式会社ニホンゲンマ 萩尾浩一

最近の部品（大きさ、形状、耐熱温度）、基板（耐熱温度）、はんだ付プロセスなどが多様化している。これらの多様化に対して、一般的に使用されてきた従来のリフローの方法（リフロー炉）では対応が困難な場合がある。

リフローは、はんだ付を行うための加熱であるが、現状最も多く使用される方法はトンネル炉型の熱風加熱方式が多い。この方法が異なると、従来のはんだを使ってはんだ付を行った場合、良好なはんだ付を行う事ができない場合がある。

このような場合に対応するめためにいくつかのリフロー方法が提案されている。

本講では、これらのリフロー方法である、真空はんだ付、ギ酸雰囲気はんだ付、レーザーはんだ付、IHはんだ付の各リフロー方法の特徴および各リフロー方法に求められるはんだ材料（ソルダペースト）の特性、課題に対する解決方法について紹介する。